

【令和元年 10 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和元年 10 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和元年 10 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【台風の影響と駆け込み需要の反動から業況は 3 ヶ月ぶりに悪化した】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-10.1（前月-4.2、前年同月-6.9）で、前月比 5.9pt 悪化した。サービス業では台風の影響を受け、小売業では消費税増税前の駆け込み需要の反動を受けた。業況が安定している製造業や建設業でも先行きを不安視する声は大きく、今後の動向に注視が必要な状況。

【製造業】

業況は-13.7（前月-14.7、前年同月-2.9）と前月に比べ 1.0pt 好転した。消費税増税を機に掛販売の精算等により資金面の改善が見られたが、受注の減少等を不安視する声は大きい状況。

【建設業】

業況は 14.7（前月 8.8、前年同月 5.8）と前月に比べ 5.9pt 好転した。台風の影響により多忙を極め業況は好転したものの、人手不足から全ての依頼を受注しきれない状況が続いている。

【小売業】

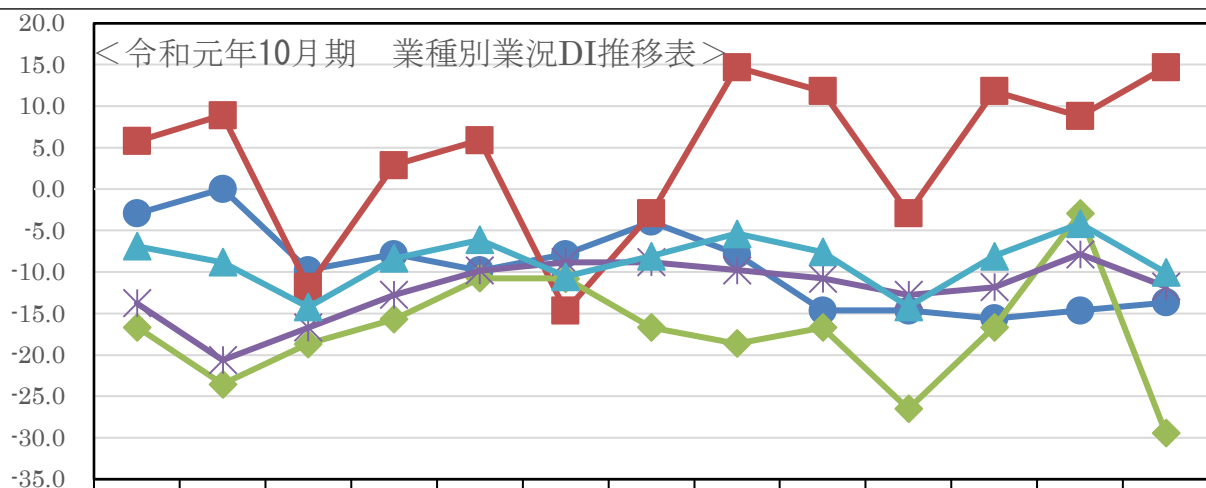
業況は-29.4（前月-2.9、前年同月-16.7）と前月に比べ 26.5pt 悪化した。駆け込み需要の反動は大きく、特に衣料品・耐久消費財の落ち込みは著しく業況を悪化させた。小規模企業においては、キャッシュレス決済に対応する事業所が見受けられてきたが、まだ普及は進んでいない。

【サービス業】

業況は-11.8（前月-7.8、前年同月-13.8）と前月に比べ 4.0pt 悪化した。度重なる台風の影響を受け業況は悪化した。特に伊豆地域の旅館業では悪天候からキャンセルが相次いだとの声が聞かれ厳しい状況となった。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：小磯・中村〕

＜令和元年10月期 業種別業況DI推移表＞



	H30.1 0	H30.1 1	H30.1 2	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10
DI値（製造業）	-2.9	0.0	-9.8	-7.9	-9.8	-7.8	-3.9	-7.8	-14.7	-14.6	-15.6	-14.7	-13.7
DI値（建設業）	5.8	8.9	-11.8	2.9	5.9	-14.7	-2.9	14.7	11.8	-2.9	11.8	8.8	14.7
DI値（小売業）	-16.7	-23.5	-18.7	-15.7	-10.8	-10.8	-16.7	-18.6	-16.7	-26.5	-16.7	-2.9	-29.4
DI値（サービス業）	-13.8	-20.6	-16.7	-12.8	-9.8	-8.8	-8.8	-9.8	-10.8	-12.8	-11.8	-7.8	-11.8
DI値（全業種平均）	-6.9	-8.8	-14.2	-8.4	-6.1	-10.5	-8.1	-5.4	-7.6	-14.2	-8.1	-4.2	-10.1

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・製造業全般として前月同様に目立った変化はなく横ばい状況であると見受けられる。（伊豆）
- ・消費税増税のタイミングで掛販売分の精算等が増加、資金繰りに関しては改善されたとの声があった。（富士駿東）
- ・台風の影響で野菜の価格が高騰している為、食品製造業で採算が悪化している（中部）
- ・管内小規模製造業においては仕事が相対的に薄くなってきており、経営において事業主の不安な状態が続いている。（中東遠）
- ・機械・金属において、受注の減少等から生産調整に入っているが今後解消する見込みがたっていない。（西遠）

【建設業】

- ・台風の災害復旧により多忙となった（伊豆）
- ・依然として人手不足が深刻である中、先月相次いだ台風による被害への対策が続いている。（富士駿東）
- ・前月と比較して特に変化はない。雇用確保が問題となっている。（中部）
- ・台風被害関連もあり忙しい。（中東遠）
- ・屋根工事業では台風被害の復旧作業依頼が関東方面から来ているが、数か月間行って戻ってきた時に、地元で仕事が無いではその後が困ってしまうので断っている。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

- ・衣料品小売業は客数が少ない。例年の2/3程度。増税後客足が途絶えた。（伊豆）
- ・家電店では消費税増税前駆け込み購入があり、10月に入り反動減があった。（富士駿東）
- ・消費税増税前の駆け込み需要が原因で衣料品などでは、やや売り上げが減少している。食料品に関しては大きな変化はなく推移している。耐久消費財販売業ではキャッシュレスに対応する事業所が見受けられた。（中部）
- ・増税の反動で大物家電の販売は例年に比べ伸び悩んだ。（中東遠）
- ・衣料品において、増税後の落ち込みは厳しいものがあった。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・宿泊業に関しては、度重なる台風の影響もあり、例年に比べ非常に悪い。（伊豆）
- ・台風19号による被害は地区内ではそれほど多くなかったが、戸田の宿泊施設で床上浸水が発生した。（富士駿東）
- ・旅館・宿泊業では週末のたびに悪天候に見舞われたためキャンセルが相次いだ。（中東遠）
- ・旅館業では公共工事の減少により宿泊客大きく減少、大変厳しい状況。（西遠）

小規模企業景気動向調査(令和元年 10 月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.5	-26.4	好転
売上	-23.5	0.1	減少
仕入単価	20.6	11.8	上昇
採算	-32.3	-23.5	悪化
資金繰り	-11.8	-11.8	不変

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.8	-11.8	好転
売上	-11.8	-14.7	増加
仕入単価	2.9	8.8	低下
採算	-5.9	-14.7	好転
資金繰り	-11.8	-11.8	不変

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.8	-5.8	悪化
売上	-5.9	-3.0	減少
仕入単価	17.6	8.8	上昇
採算	-3.0	-8.8	好転
資金繰り	-5.9	-8.8	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	14.7	8.8	好転
売上	23.6	29.5	減少
仕入単価	32.4	23.6	上昇
採算	-8.8	-3.0	悪化
資金繰り	-8.8	-5.9	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-44.1	-8.8	悪化
売上	-53.0	5.9	減少
仕入単価	5.9	0.0	上昇
採算	-23.5	-3.0	悪化
資金繰り	-23.5	-17.7	悪化

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.6	-2.9	悪化
売上	-29.4	0.0	減少
仕入単価	35.3	26.5	上昇
採算	-50.0	-29.4	悪化
資金繰り	-8.9	-14.7	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-20.6	2.9	悪化
売上	-17.6	11.8	減少
仕入単価	11.8	14.7	低下
採算	-17.6	-5.9	悪化
資金繰り	-11.8	-14.7	好転

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-20.6	-14.7	悪化
売上	-14.7	-2.9	減少
仕入単価	14.7	11.8	上昇
採算	-11.8	-3.0	悪化
資金繰り	-23.5	-14.7	悪化

9.洗濯業

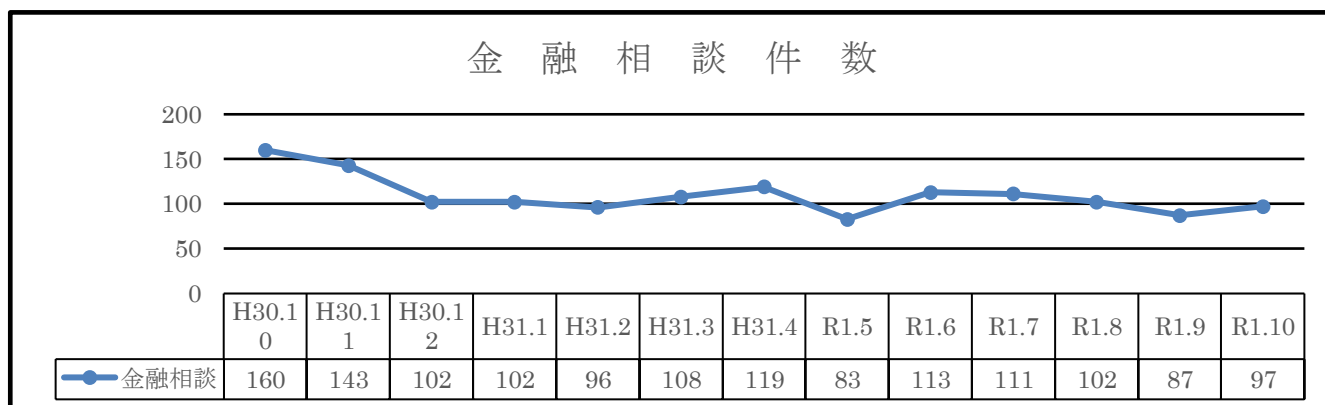
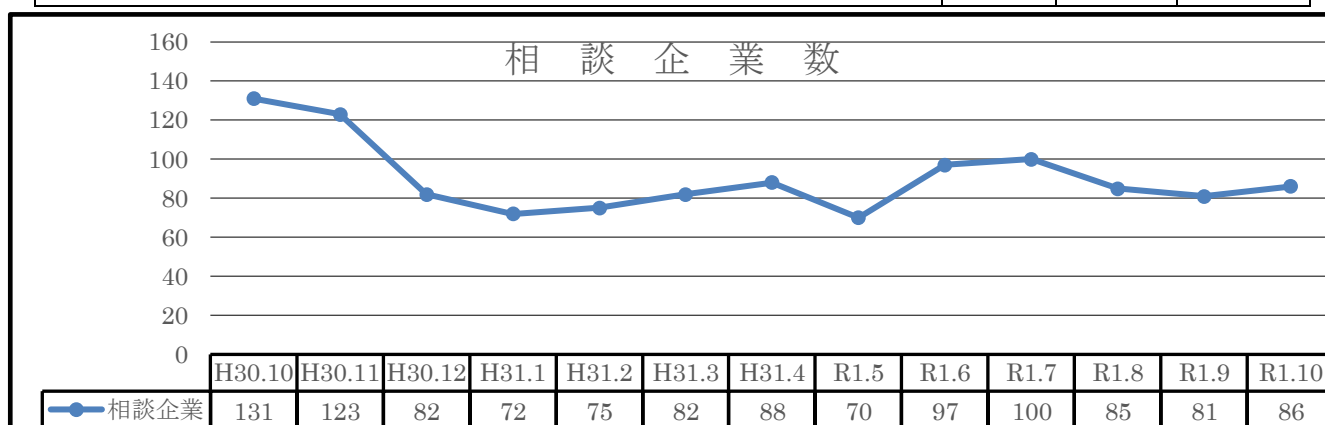
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.7	-2.9	悪化
売上	-11.8	-5.9	減少
仕入単価	20.6	11.8	上昇
採算	-11.8	-5.9	悪化
資金繰り	-3.0	0.0	悪化

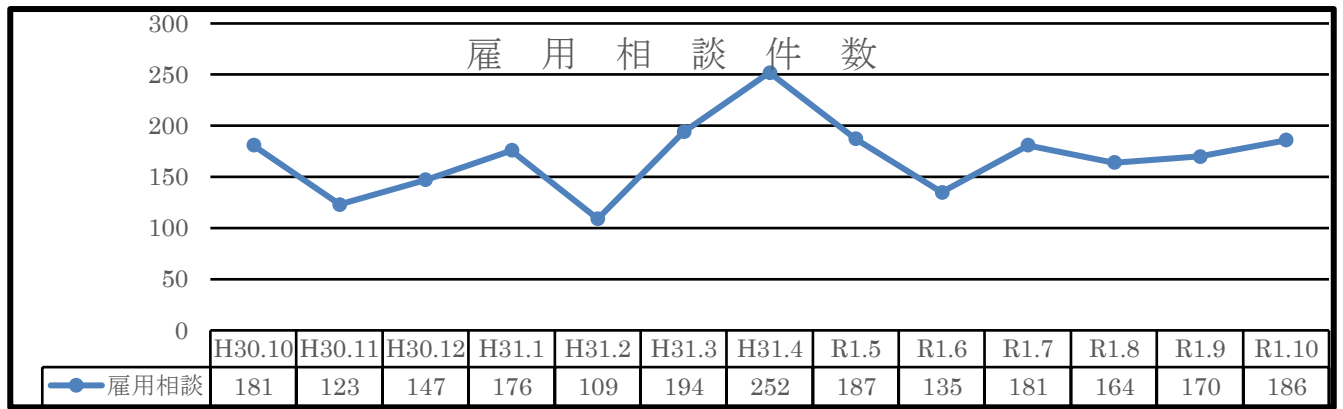
10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-3.0	-5.9	好転
売上	0.0	3.0	減少
仕入単価	11.8	8.8	上昇
採算	-3.0	0.0	悪化
資金繰り	0.0	-5.9	好転

金融・雇用相談実績月次報告(令和元年 10 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	86	81	5
【金融相談件数】	97	87	10
新規融資（借換えを除く）	50	56	-6
既存債務の借換え	31	23	8
借入れ条件変更	1	2	-1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	15	6	9
【雇用相談件数】	186	170	16





【金融相談】

金融相談件数は、97 件と前月（87 件）に比べ 10 件増加した。台風被害の影響もあり運転資金・設備資金ともに各地で相談多く、件数が増加した。今後も金融相談増加が見込まれる。

<経営指導員コメント>

- ・運転資金・設備資金ともに相談が多かった。今後台風 19 号の被害による金融相談が増えるものと思われる。（伊豆）
- ・公庫マル経 2 件の相談があり、10 月中に推薦実施。（富士駿東）
- ・設備資金の融資が 2 件あった。マル経にて対処した。（中部）
- ・台風の被害に関する設備修繕に関する相談があった。（中東遠）
- ・運転資金としての借換えの相談が多かった。来月も融資の相談が増えそうである。（西遠）

【雇用相談】

雇用相談件数は、186 件と前月（170 件）に比べ 16 件増加した。慢性的な人手不足は深刻化しており、特に建設業や製造業からの相談が目立っている。

<経営指導員コメント>

- ・人手不足への対応を課題とする旨の話を事業者から聞く機会が多い（富士駿東）
- ・雇用に関する相談は、雇用保険の離職・取得についてが多い。（中部）
- ・建設土木で外国人雇用に関する相談あり。（中東遠）
- ・製造業からの相談が多い。（西遠）

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・フェスタ南伊豆 10 月 20 日開催、商工会事業者出展枠により販路開拓のサポートを行った。南伊豆ブランド認定品&新商品試食販売会を 10 月 20 日に開催、一部ブランド品の試食販売会、地魚漁師のパエリア試食会を開催し好評を得た。（南伊豆町）
- ・管内で台風 19 号の被害が大きい事業所があり、被害確認に迫られた。影響が長期間に渡る可能性がある。（函南町）
- ・富士市では住民税非課税者・子育て世代対象のプレミアム付商品券事業が 10 月 1 日より開始。引き続き加盟店募集を続けていく。創業塾を 11 月 16 日、23 日、30 日の 3 回、各土曜日に、富士市産業支援センターとの共催により開催する。（富士市）
- ・第 14 回かんばら ちょっくら（楽）市の開催・・・10/14 地元の海の幸や山の幸、特産品が勢揃いし大勢の買い物客で賑わった。また、第 14 回由比街道まつり（10/20）は旧東海道で賑やかに行われた。さらに、第 2 回静岡市清水商工会個店塾を開催した。今回は集合開催（10/20）と自店開催（10/1～10/19）の 2 パターンでの開催となり出店事業所も増えた。（静岡市清水）
- ・コワーキングスペース事業についてネーミングが決定、施工業者も決定した。11 月より施設工事を開始し、来年 1 月末に完成、2 月より運営開始の運びを目指し引き続き事業を進めて

いく。(浜北)